

学区別意見交換会

令和2年（2020年）5月21日（木）10：30～11：29 菩提寺まちづくりセンター

出席者：区長 7名、まちづくり協議会役員 2名

市：谷畑市長、萩原副市長、谷口教育長、関係課職員

1. 市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の対応の経緯や現在の状況について。

副市長あいさつ

教育長あいさつ

2. 自己紹介

区長：役員会や委員等の会議が出来ず、意思疎通が難しい。委員長会議は行っているが新体制で伝達が難しい。

6月の美化作業、意見もあったが、ボランティアクラブ有志など少人数で行う。グラウンドゴルフは昨日から開始、高齢者が元気に活動できる場であり、戸惑いながら活動している。

区長：コロナの影響で行事もできず、暇なようで忙しい難しい状況。

区長：まち協WEB会議を試みようとしているが、機器を購入しようにも納期が間に合わない。併用して行っていきたいと考えている。

区の夏まつりは市に準じて中止とした。

敬老会は高齢者対象のため慎重にならなければならない。

まちづくりフェスタは準備の時期にきており、至急に検討が必要となる。

区長：夏まつりは市に準じようとは考えている。事業をする際に、感染者が出たら、誰が責任を持つのかなどの声もあり、今は事業を取りやめている。

区長：分散して草刈りを行っている。理事会・役員は組長含め50人以上になるため、各役員が集まり組長に伝える流れで行っている。夏まつりは中止になるかと考えている。敬老会も中止の方向になるかと思う。

区長：役員会は通常通り行った。班長会議は30人を3つにわけ、短時間で行った。夏

まつりは中止、新しい自治会館で夏まつりをできていない。
自他会の存続も心配なため、短い準備でできる夏まつりを検討。
河川清掃、やらないと草や災害時の課題が残るため、密にならず行う方向。
コロナの影響で自治会のつながりが薄れていくのが怖い。

区長：役員会が開けていない。コロナに関していろいろな意見があり、集まるのが難しい。

24日初めて役員会を行う。今は電話連絡など行っているが伝達が難しい。
夏まつりは24日に決める。草刈りは密にならず分散して行うよう考えている。
敬老会も今後検討していく。

まち協：コロナの問題に乗じて、活動したくない人の声が大きくなりつつあり、動けていない。自粛しながらできる方法はないものか。この後、まち協で役員会をする。市から参考になる意見があればほしい。

まち協：今年度のまち協の財政は大変である。委員会の中止などあり、予算執行は昨年度比で落ちている。今後もどこまで活動できるのか心配である。

3. コロナウイルス対策の説明

- ・ 湖南市新型コロナウイルス感染症基本的対応方針第7版抜粋による説明。
- ・ 新しい生活様式

4. コロナウイルスに関する意見交換会（地域での困り事等）

区長：地域行事、カラオケやコーラス等のイベントは中止と指示が出ており、断らなくてはいけないサークルがある。期間は5月末までと思っているがよいか。
特別定額給付金について、生活保護受給者への支給も収入認定されないことを受給者に周知はできているか。

市長：カラオケやコーラスはクラスターを起しやすく、狭い空間で大声を出す行為は感染しやすくできる限り止めていただきたい。

制限が解除されてもウイルスはなくなるわけではないので、すべてが解除されるわけではないとご理解いただきたい。外で密にならない状態なら良いが、室内で密になる状況は感染しやすくなるため5月末に限らず同様である。

生活保護受給者については、対象となるが本人の思い込みにより申請されない場合もありえるため、担当課に確認をする。

区長：自治会館で3密を避けてやろうとの声がある。カラオケ等を行える方法はあるか。

区長：PCR 検査の湖南省状況や相談先は。検査を受けられるタイミングは。

市長：PCR 検査は市内 31 検体すべてが陰性、医師の判断や帰国者接触者相談センター等の判断で必要に応じて行っている。医師が確認をしたうえで、疑いが濃いところを判断して検査を行っている。検査結果を目安に対策本部会議を立ち上げるかどうか判断することになっている。キャパシティについては、県では 1 日 60 検体を受け入れられる状況。民間でもできるように法改正が検討されているところ。マスク着用や手洗いの徹底の中で、ウイルス性肺炎が少なくなってきたように思う。高熱は 37.5℃が 4 日以上続くことが目安。

今は検査の数が減ってきたため、県の窓口で一本化している状況。

指定感染症病床は甲賀病院 4 床。現在、入院患者はいない。

ホテルピアザ琵琶湖で軽症者専門に受け入れでき、病院と連携し医師や看護師を配置し対応できるようにしている。

区長：今の話は自治会員に話してよいか。総会も書面決議で自治会員も情報が得られず不安になっているため、このような情報があると安心できる。

同好会等の開催、カラオケやマージャンはまだ自粛してもらう予定。

高齢者のサロン（30～40 人程度）どのようにすれば開催できるか。高齢福祉課の補助対象事業でもあり、見解を出しておきたい。

調整池の草刈り、市のほうでやってくれると聞いているが、この時期なので、実施されるか心配している。

市長：周知してください。カラオケやマージャンは密になるため自粛していただきたい。高齢者サロンの密にならず開催することは躊躇される地域が多いが、補助金の関係もあるため、一定のガイドラインを示せるようにしたい。持ち帰り担当課と協議する。調整池の草刈りについても担当課に確認する。

区長：毎年、敬老会に市から来賓としてくるが今年の予定は。

市長：敬老会については議論が尽くせていないが、状況を見て早急に内部で議論する。

区長：室内で行う取り組みは全面禁止、外でグラウンドゴルフや草刈りは行う。問題はいろいろあるが、顔を合わせて会議を行うことができないため、苦情が多く出る。

苦情処理するため、三役が四苦八苦している。これが良い方向に動くと思じている。

予算の縮小化の声もある。自治会の今後の活動に影響していくことを危惧して

いる。

また、民生委員の戸別訪問ができない。独居老人など対面できないことに苦労している。国勢調査の時期の検討、国の責任ではなるがやり方の方法を検討してほしい。

水道料金は減免だが、下水道使用料は徴収であることを周知願いたい。

市長：今までふれあい、集まって行ってきた自治活動のやり方をコロナの関係で規制されたことにより、見直しを行わなければならない状況になっている。

行事の制約についても国や県の基準をみながら考えさせてほしい。

民生委員の対応は高齢者に感染させるわけにもいかず、本当に難しい。

高齢者の対策には苦慮しているが、できることを市役所内で検討していき、民生委員と共有したい。

国勢調査も国では行う方向、スマホ等で調査できるため訪問は少なくなると考えているが、まだ方向性が見えていない。

上下水道については、過使用を促しているわけではないので、下水道使用料の無料は考えていない。下水道使用料の一部減免等は考えさせていただきたい。

区長：湖南省では小学校の分散登校など、どのように考えるか。

市長：5月14日に緊急事態宣言が解除され、中学校は先週から、小学校は今週から地区別に分散登校を行っている。6月から開始とする。長期休み後のイジメや自殺など子どもの生活上の課題など様子を見ながら進めるため、1週間は午前中のみで給食なし、2週目から通常授業とする。給食時の感染については、教育委員会や各学校で予算も含め検討しているところ。

夏休みを短縮するかどうかは検討中であり、7月中に登校で単元数を合わせていく方向で検討している。